

MDP

Sagantosu

MatchDay Program

サガン鳥栖オフィシャルマッチデープログラム

VOL.20

11.5 [土]

14:00 KICK OFF

2022明治安田生命 J1リーグ第34節
@ 駅前不動産スタジアム



vs サンフレッチェ広島



2022



明治安田生命
J1 LEAGUE

©1992 SANFRESCCE HIROSHIMA CORPORATION

DF HWANG SEOK HO

20 ファン ソッコ

第3節名古屋グランパス戦でJ1通算200試合出場を達成。韓国代表としてもオリンピックやワールドカップにも出場。その数字が示す経験、それに裏付けされる存在感。歴戦の雄としての立ち振る舞いは若い選手が多い鳥栖にとって頼もしい支柱となっている。日本でのプレー経験も長く、ピッチ上でのコミュニケーションには困らないだけの日本語も使うことができる。「日本語でコミュニケーションを取りながら周りを動かすことができるのは自分の強み」と話すように外国籍選手という立場でありながらリーダーシップをとることもできる。開幕前にエドゥアルドが移籍するという緊急事態の中でも最終ラインが落ち着きを維持できたのはファン・ソッコという存在の大きさもあった。最終ラインを含めた守備の安定はチーム全体の安定につながる。守備という土台が安定していたからこそ、今季の攻撃的なスタイルの浸透はスムーズに進んでいた。

チームにもたらす安心感。ファン・ソッコはサポーターにもそれを約束する。「応援して下さる皆さんが試合を見て満足して帰っていただけるようなサッカーを見せたいし、サガン鳥栖のサポーターであることに誇りを持ってもらえるようなチームにしていきたい。選手が大きく入れ替わって臨んだ今季、紆余曲折がありながらも早い段階でJ1残留を確定させるなどチームは堂々たる戦いぶりを見せた。「問題は起こるもの。そうなったときにチームを一つにして、良い方向に引っ張って行くことがベテランの仕事。自分が出場する以上は締めるところは締めてチームをいい方向に導いていく」。ファン・ソッコは揺らがない。不動心を備えたその背中ではチームを正しい方向へと導く道しるべだった。



頼もしき背中。不動心という道しるべ

アニマル・ワン
QUALITY NO.1

PRESENTS “犬の雑穀ごはん” スペシャルマッチ